第6回 肱川大規模氾濫に関する減災対策協議会

【 これまでの取組状況と今後の予定について 】

関係機関の取組状況整理一覧表

直轄管理区間

概ね5年で実施する取組(直轄管理区間)

			課題の		大洲市				尹市			₹	5予市			硅	部町			Þ	9子町	
項目	事項	内容	課題の 対応	実施内容	時期 平成28年 実施も	■度の 分後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定
1)ハー	ド対策のヨ	主な取組						•								·						
	■洪水	氾濫を未然に防ぐ対策					1		1										1			
		(監川) ・惣瀬箇所の堤防整備 ・小長浜箇所の堤防整備 ・小長浜箇所の堤防整備 ・東大湖箇所外6箇所の段階的嵩上げ ・旧堤撤去による流下能力不足解消 ・鹿野川ダムの改造 ・管田・村島工区の暫定的堤防整備 ・岩瀬川工区の暫定的堤防整備	R, p, g, r																			
		・久米川工区の段階的嵩上げ (流域内河川)																				
		・河床整正等による流下阻害箇所の解消																				
	■危機	管理型ハード対策					1						1				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		1		1	
		《協川》 ・宇和川(瀬戸工区)の重要水防箇所の堤 防補強 〈清永川〉 ・重要水防箇所の堤防補強	R. p. q. r																			
	■避難	 行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整	を備																			
		- 早期に氾濫が発生する地区に対して、洪水 時の避難勧告等の発令判断に活用する水位 計の整備	В																			
		・肱川減災対策計画に基づく排水路の整備	·肱 P 可能	川滅災対策計画に基づき対応 能箇所より排水路等の整備を実	平成30 年度を 目処 完了	災対策 田淵地区減災対策 工事(止水壁設置) 施行 【時期】 平成29年度以降																
		・避難行動に必要な映像提供を考慮した CCTVカメラの配置計画の検討を実施	н																			
		・光ファイバーの二重化、架空区間の埋設化 の検討を実施	н																			
		・堤防天端を活用した緊急輸送路の整備及び 避難路としての活用運用整備	D																			
		・水防活動の迅速化、水害対策に活用できるよう「土のラステーション」を整備	・家 N ±0 テ- 600	屋・店舗等の浸水を防ぐための のうを予め備えるため、土のうス ションを3基設置。(300袋から) 袋備蓄)	H28.5予 定 土のラステー 設置 (H28.5.9)	ション																
		・計画規模降雨を超える洪水において、4種門 等を活用した早期排水を行うため、浸水等に よる種門等の機能伴止を回避するための施設 強化の検討及び排水機場の整備の検討	・計 いて を 機 化 の	画規模降雨を超える洪水にお 、樋門等を活用した早期排水 ううため、浸水等による樋門等の は停止を回避するための施設強 検討	版川流域総 H28年 推進協議会 度から 検討実 対し都谷川 滝川樋門の 進を要望。	合整備 の要望 総続して要望活動 に実施 通門及び (時期) 毎年実施 毎年実施	*															
																						

			課題の		愛媛県				気	象台			四国地整		
項目	事項	内容	対応	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定
1)ハード	対策の主	な取組													
	■洪水氾	3濫を未然に防ぐ対策 				1			,	,		 	I	1	
		(版川) ・惣瀬箇所の堤防整備 ・小長浜園所の堤防整備 ・小長浜園所の堤防整備 ・東大洲箇所の堤防整備 ・旧堤勝広よる流下能力不足解消 ・鹿駅がよんの改造 ・菅田・村島工区の暫定的堤防整備 ・岩瀬川工区の暫定的堤防整備 (久米川) ・久米川」 ・久米川工区の段階的嵩上げ (流域内河川) ・河床整正等による流下阻害箇所の解消	R. p. g. r	〈久米川〉 ・久米川工区の段階的嵩上げ	平成30年度	(久米川) 段階的黨上げ工事 着手。	〈久米川〉 ・段階的嵩上げの 工事推進					《肱川》 ・惣瀬箇所の堤防整備 ・小長浜箇所の堤防整備 ・東大洲箇所外6箇所の段階的嵩上げ ・旧堤撤去による流下能力不足解消 ・鹿野川ダムの改造	平成30年度 平成32年度 平成30年度 平成28年度 平成30年度	·惣瀬地区、旧堤撤 去、鹿野川ダム改造 着手。	【内容】 ・目標時期に完成す るよう事業を推進
	- 7 100 66	- VIII TII 10.1 64-													
	Г	F理型ハード対策							i						
		《協川》 ・宇和川(瀬戸工区)の重要水防箇所の堤 防補強 〈清永川〉 ・重要水防箇所の堤防補強	R, p, q, r												
	■ `Pt ## 4=		/±=												
	■姓難行	·動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整	順												【中來】
		・早期に氾濫が発生する地区に対して、洪水時の避難勧告等の発令判断に活用する水位計の整備	В									・越流堤箇所の越流深を計測するため、 水位計による越流深の計測を実施	H28年度から 順次実施		【内容】 越流堤箇所に水位 計を設置 【時期】 平成30年度に設置 予定
		・肱川滅災対策計画に基づく排水路の整備	Р												
		・避難行動に必要な映像提供を考慮した CCTVカメラの配置計画の検討を実施	Н									・CCTVカメラの配置について、改めて検討を実施	H28年度から 検討	・CCTVカメラ映像 の配信箇所の追加 (川の防災情報HP での公開)	
		・光ファイバーの二重化、架空区間の埋設化 の検討を実施	Н									・光ファイバーの二重化、架空区間の埋設化の検討	H28年度から 検討		
		・堤防天端を活用した緊急輸送路の整備及び 避難路としての活用運用整備	D									・堤防天端を活用した緊急輸送路の整備 及び避難路としての活用運用整備	H30年度	·緊急輸送路の整備 延伸	【内容】 緊急輸送路の肱川 橋までの延伸 【時期】 平成29年度中に完 成予定
		・水防活動の迅速化、水害対策に活用できる よう「土のうステーション」を整備	N												
		・計画規模降雨を超える洪水において、樋門等を活用した早期排水を行うため、浸水等による樋門等の機能停止を回避するための施設強化の検討及び排水機場の整備の検討	m	・計画規模降雨を超える洪水において、樋門等を活用した早期排水を行うため、浸水等による樋門等の機能 停止を回避するための施設強化の 検討	H28年度から 検討実施	-	必要に応じて施設を 強化を検討					・計画規模降雨を超える洪水において、 植門等を活用した早期排水を行うため、 浸水等による樋門等の機能停止を回避 するための施設強化の検討及び排水機 場の整備の検討	H28年度から 検討実施		

		課題の		大	洲市			伊	尹市			Ē	5予市			ā	氏部町			内	子町	
項目事	「 内容	対応		時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定
2)ソフト対策	の主な取組 ①円滑かつ迅速な避難行動のため	の取組	•				•															
=1	情報伝達、避難計画等に関する取組																					
	・避難行動等に必要な情報提供内容の検討 及びその情報によるリアルタイムの情報提供、 ブッシュ型情報の発信及び連絡網の整備	g, h, E, F, G, H, J	・農地所有者や企業等への水位情報連絡網の整備・想定最大規模降雨による洪水路まえた情報提供内容の検討	度から	一	【内容】 未登録及び新規事 業所に引き続き啓発																
	・避難勧告に着目した防災行動計画(タイムライン)の作成及び関係機関の連携状況等を踏まえた精度向上及び訓練の実施	B	・タイムラインの作成(H28.3) ・タイムラインによる訓練の実施	度から	台風の接近等に合わせてタイムラインによる行動確認を実施	の訓練を実施																
	・計画規模降雨を超える洪水を対象としたタイムラインの作成及び訓練の実施	, с	・計画規模降雨を超える洪水を 象とした新たなタイムラインの作			【内容】 国交省と内容協議 のうえ作成 【時期】 H29年度以降																
	・計画規模降雨を超える洪水も対象とした近 隣市町との広域避難に関する調整、避難経路 の検討	& C, D	・近隣市町との広域避難に関す 調整、避難経路の検討	H28年 度から 検討実 施		【内容】 肱川全域の浸水想 定区域提示後検討 【時期】 H29年度以降																
	・計画規模降雨を超える洪水も対象とした浸水地区の避難所、避難経路等の検討	C, D,	・計画規模降雨を超える洪水も 象とした浸水地区の避難所、避 経路等の検討	対 (H28年 度から 検討実 施		【内容】 肱川全域の浸水想 定区域提示後検討 【時期】 H29年度以降																
	・洪水予報文・水位到達情報文の改良	А																				
	・想定最大規模降雨による洪水も含めた浸水 想定区域の指定及び浸水シミュレーション、多 屋倒壊等氾濫想定区域の公表	₹ <i>a</i> , H																				
	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域の指定及び浸水ジミュレーション、家屋倒域等氾濫想定区域の公表対象河川の検討を実施	b b																				
	・ハザードマップ(統合型防災マップ)の改良・ 周知	a, b, d, e,	・想定最大規模降雨による洪水 定区域も踏まえたハザードマップ (統合型防災マップ)の改良・周 ・また、国からの最新の浸水区対 等データによりハザードマップ(射 型防災マップ)の作成・配布	f 知 H28年 度から 或図 順次実	区域のデータ提供に ついて国・県協議実	水想定区域提示後																
	・現状の河川管理施設の能力を大幅に上回 洪水に対する被害軽減のための「災害・避難 カード」の取組	5 D	内閣府のモデル事業として、三 地区において、「災害・避難カー への取組を実施	善 H28年 度	第1回WS開催 (H28.8.28) 第2回WS開催。 災害·避難力一片の 作成。(H28.11.20) 第3回WS開催。 災害·避難力一片を 基に避難到練を実 施予定。 (H29.1.29)																	
	・情報伝達手段の多重化の検討を実施	E, F	・情報伝達手段の多重化を検討	H27年 度から 検討実 施	庁内関係機関と検討	【内容】 引続き情報伝達手 段について検討 【時期】 H29年度																
	・計画規模降雨を超える洪水を考慮した災害 対策拠点における浸水対策及び代替施設の 検討	/																				
	・洪水時に直接市町長等へ河川情報を伝える 「ホットライン」の構築を検討	Š A																				

			課題の		愛媛県				気:	象台			四国地整		
項目	事項	内容	対応	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定
2)ソフト対	策の主な	は取組 ①円滑かつ迅速な避難行動のための	取組			2/15/1/10		•		20000000					
•	■情報伝	達、避難計画等に関する取組						1					ı	1	
		・避難行動等に必要な情報提供内容の検討 及びその情報によるリアルタイムの情報提供や ブッシュ型情報の発信及び連絡網の整備	g, h, E, F, G, H, J	・アラームメール(えひめ河川メール) の利用登録者の増加	順を事件	各種説明会等において、チラシの配布 や説明を実施	引き続き実施					・ブッシュ型情報の発信 ・ライブ映像箇所の拡大 ・増定最大規模時間による洪水を踏まえ た情報提供内容の検討	H28年度から 順次実施	緊急速報メールを活用した洪水情報の ブッシュ型配信を 9/5より開始。 (H28.9.5)	-
		・避難動告に着目した防災行動計画(タイムライン)の作成及び関係機関の連携状況等を踏まえた精度向上及び訓練の実施	В	・国、市と協力しタイムラインの作成 及び内容精査を支援	H28年度から 実施	-	関係機関と協力し、 タイムラインの作成に 着手					・タイムラインは作成済み(H28.3) ・関係機関(国・県・市)の行動状況や連携状況を踏まえた精査 ・タイムラインによる訓練の実施	H28年度から 実施		【内容】 ・大洲市とタイムラインの訓練を実施 (H29は9月頃で調整) 【時期】 毎年実施
		・計画規模降雨を超える洪水を対象としたタイムラインの作成及び訓練の実施	С	・国、市と協力しタイムラインの作成 及び内容精査を支援	H28年度から 検討実施	-	関係機関と協力し、 タイムラインの作成に 着手					・計画規模降雨を超える洪水を対象としたタイムラインの作成及び訓練の実施	H28年度から 検討実施		【内容】 ・計画規模降雨を超える洪水を対象した タイムラインの検討 【時期】 平成29年度に検討 実施
		・計画規模降雨を超える洪水も対象とした近 隣市町との広域避難に関する調整、避難経路 の検討	C, D	・大洲市が近隣市町との広域避難を 検討する場合に八幡浜支局においても調整を支援	H28年度から 検討実施	-	広域避難の検討を 支援								
		・計画規模降雨を超える洪水も対象とした浸水地区の避難所、避難経路等の検討	C, D, I, <i>e</i>									・計画規模降雨を超える洪水も対象とした浸水地区の避難所、避難経路等の検討にかかる支援	H28年度から 検討実施		【内容】 ・計画規模降雨を超える洪水を対象した 遊難計画に資する 資料を検討 【時期】 平成29年度に検討 実施
		・洪水予報文・水位到達情報文の改良	А					・洪水予報文の改良	H28年度	・洪水予報文の改良を実施	【内容】 ・継続的に改良を実施 【時期】 毎年度見直しを実施	・氾濫が発生した場合の浸水区域として 対象となる地区名まで表示した洪水予報 文の改良	H28年度	・洪水予報文の改良を実施	【内容】 ・継続的に改良を実施 に時期】 毎年度見直しを実施
		・想定最大規模降雨による洪水も含めた浸水 想定区域の指定及び浸水シミュレーション、家 屋倒壊等氾濫想定区域の公表	<i>a</i> , H									・想定最大規模降雨による洪水も含めた 浸水想定区域図及び浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表	H28年5月	・平成28年5月30日 に直轄区間を公表	
	:	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域の指定及び浸水シミュレーション、家屋倒壊等 下2)監想定区域の公表対象河川の検討を実施	Ь												
		・ハザードマップ(統合型防災マップ)の改良・ 周知	a, b, d, e, 									・想定最大規模降雨による洪水想定区 域も踏まえたハザードマップ(統合型防災 マップ)の改良に関する支援	H28年度から 順次実施	・平成28年5月30日 に公表した浸水想定 区域図等を提供	
		・現状の河川管理施設の能力を大幅に上回る 洪水に対する被害軽減のための「災害・避難 カード」の取組	D	内閣府のモデル事業として、三善地 区において、「災害・避難カード」への 取組を実施	H28年度	第1回WS開催 (H28.8.28) 第2回WS開催。 災害・避難カードの 作成。 (H28.11.20) 第3回WS開催。 避難訓練を実線。 (H29.1.29)		内閣府のモデル事業として、 三番地区において、「災害・ 避難カード」への取組を実施	H28年度	第1回WS開催 (H28.8.28)		内閣府のモデル事業として、三善地区に おいて、「災害・避難カード」への取組を 実施	H28年度	第1回WS開催 (H28.8.28) 第2回WS開催。 災害・避難カードの 作成。 (H28.11.20) 第3回WS開催。 避難訓練を実線。 (H29.1.29)	
		・情報伝達手段の多重化の検討を実施	E, F												
		・計画規模降雨を超える洪水を考慮した災害 対策拠点における浸水対策及び代替施設の 検討	/									・計画規模降雨を超える洪水を考慮した 災害対策拠点における浸水対策及び代替施設の検討	H28年度から 検討実施		
		・洪水時に直接市町長等へ河川情報を伝える ホットライン」の構築を検討	Α												

-7.0	+	課題の		大洲	π			伊	予市			西	i予市				部町				子町	
項目	事項 内容	対応	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定
2)ソフト対	策の主な取組 ①円滑かつ迅速な避難行動のための	の取組						·			•								•			
	■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組					ı													_			
	・避難を促す緊急行動のトップセミナーの開催 及び共同点検の実施	B .⊞	園が実施するトップセミナー及び 同点検の参加	度から 毎年実 施		【内容】 ・トップセミナーとして 減災対策協議会を 活用 ・重要水防箇所の点 検を実施 【時期】 毎年出水期までに実施																
	・情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善	н																				
	・効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料の作成・配布	A、H · · · · · 報	∛書情報提供のチラシ等による広・周知	H28年 度	・土砂災害説明会等 で災害情報説明後 資料を配布、説明 ・減災協議会の実施 に関するニュースレ ターの配付(H29年2 月) ・自主防災訓練等に よる講習で配布、説 明	【内容】 自主防災訓練や公 民館事業を通して周																
	・小中学校及び自治会等における洪水被害の 歴史等を踏まえた水災害教育を実施	設 を! A、G・地 水	県外授業等での防災センター施 見学等の利用促進について検討 実施。 規定最大規模降雨による洪水浸 想定に関する自治会等への説 の実施	H28年 度	・若宮地域自主防災 組織の取組 (H28.7.30)・三善地区自主防災 組織の「災害避難 日本の「災害避難 日本の「災害避難 日本の 「外間では (H28.8.28) 「外間では (H28.10.16) 「対力向上キャン アルで、組織に が、現職機に 水災害教育を実施 (H29.1.7)	【内容】 自主防災組織連絡 協議会において、洪 水浸水想定の説明 会実施 【時期】																
	・ダム操作に関する地元関係者への周知		園の説明会に関係各課が参加 関係機関等へ周知	引き続き 定期的 に実施	鹿野川ダム放流警 報周知会に参加	【内容】 国の説明会に担当 者が参加し、関係機 関へ周知 【時期】 国説明会開催時参 加					野村ダム放流警報周知会の実施・河川利用者への説明	引き続き 定期的 に実施	毎年実施	【内容】 野村ダム放流警報 周知会を実施 【実施時期】 4月26日に実施予 定								
	・水害等への備えに関する要配慮者利用施設 の管理者向け説明会の実施	A, G																				

			課題の		愛媛県				気	象台			四国地整		
項目	事項	内容	対応	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定
2)ソフトダ	対策の主	な取組 ①円滑かつ迅速な避難行動のための	取組												
	■平時が	から住民等への周知・教育・訓練に関する取組		1	ı			1					1		
		・避難を促す緊急行動のトップセミナーの開催 及び共同点検の実施	В	・水防連絡協議会等において関係者 に避難活動の充実を図る啓発を実 施 ・関係者で重要水防箇所等の点検 を実施	引き続き実施	平成28年5月 実施	引き続き実施					・毎年出水期までに首長以下関係者で、 遅難を促す緊急行動のトップセンナーの 開催を促す気急行動のトップセンナーの 関係を支援。また、重要水 防箇所等の点検を実施。			【内容】 ・トップセミナーとして協議会を活時的の点検を実施 【時期】 ・毎年出水期前までに実施
		・情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善	Н					・情報発信時の「危険度の色 分け」や「警報級の現象」等の 改善	H29.5末	情報発信時の「危険 度の色分け」や「警 報級の現象」等の改善 (H29.5.17)	・大雨警報・洪水警報の危険度分布の公開 (H29.7月予定)				
		・効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料の作成・配布	A, H	・えひめ河川メールのチラシ配布	引き続き実施	各種説明会等において、チラシの配布 や説明を実施	引き続き実施					・水災害広報の充実として出水があった場合、ニュースレターを発行 ・水防工法の実物展示等による広報の充実 ・想定最大規模降雨による洪水浸水想定を正し、理解するための説明資料の作成	H28年度から	・減災協議会の実施 に関するニュースレ ターの配布 (H29.2.中旬) ・「災害時の避難行 動に役立つ!」情報 サイト周知チラシの 配布 (H29.4.15大洲市内 配布予定)	
		・小中学校及び自治会等における洪水被害の 歴史等を踏まえた水災害教育を実施	A, G	・要請に応じ、出前講座により水災害 教育を実施	引き続き実施	出前講座の希望者を募集	引き続き実施					・小学校・中学校における水災害教育として、5年生以上を対象に洪水被害の歴史 で、5年生以上を対象に洪水被害の歴史 や身を守るための手段、国の対策等につ いて授業の一環として実施(依頼により実施) ・想定最大規模降雨による洪水浸水想 定に関する自治会等への説明の実施	引き続き実施	・若宮地域自主防災 組織の取組(H28.7 月30日) ・「新町駅前どか市」 でのパネル展等実施 (H28.10.16) ・防災力向上キャン プにおいて、銀織に 水災害教育を実施。 (H29.1.7)	【内容】 ·小中学校及び地域向けの防災教育用教材の作成 【時期】 ·平成29年度に教材 作成予定。 ·その後は随時更新 を予定
		・ダム操作に関する地元関係者への周知	F	・国の説明会に関係各課が参加し、関係機関等へ周知	引き続き定期的に実施	・鹿野川ダム・野村ダム放流警報周知会に参加	毎年参加					・鹿野川ダム・野村ダム放流警報周知会 の実施 ・河川利用者への説明	引き続き定期的に実施	毎年実施	【内容】 野村ダム放流警報 周知会を実施 【実施時期】 4月26日に実施予 定
		・水害等への備えに関する要配慮者利用施設 の管理者向け説明会の実施	A, G	・要配慮者利用施設の管理者に対して、水害への備えに関する理解を深めてもらうための説明会を実施	H28年度	平成28年12月 実施	必要に応じて実施					・要配慮者利用施設の管理者に対して、 水害への備えに関する理解を深めてもら うための説明会を実施	H28年度		

事項		課題の	大洲市			伊-	予市			西予市	ф			石	氏部町			1	内子町	
坦	内容	対応実施内容	時期 平成28年 実施り	度の 今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後
の主	な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減及び避	難時間の確保のための水防活動等の取組		1	1		X105 0 1700				X16 1/100	'	·		X/IBVV/V				1 5/1/20	
水防湿	活動の効率化及び水防体制の強化に関する取約	1																		
	・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	・毎年情報伝達網の確認 K ・ 経門等の点検時等に伝達網を活用して実施(火災・事故・捜索活動でも活用)	引き続き 毎年実 施 蓮網を確認	【内容】 引き続き樋門点検 時等に伝達網を確 記 【時期】 毎年実施																
	・水防連絡会等による水防団等との共同点検 等の実施及び重要水防箇所の精査・見直し	・水防連絡会等への水防団・危機 管理課職員・消防署・自主防災組 総等の参加 ・水防団幹部との意見交換会に水 防団・担当職員等の参加	引き続き <mark>担当者の水</mark> 毎年実 会参加	会等へ参加																
	・水防団・自主防災組織・消防署等の関係機関が連携した水防訓練の実施	M ·水防団·自主防災組織·消防署· 危機管理課職員が参加	引き続き (H28.5.15) 毎年実 ・自主防災系	日織によ 組織による訓練実施 の実施 【時期】	E															
	・河岸侵食等も考慮した、水防用資機材の配 置計画の見直し及び広域支援の検討	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	平成28 年度か ら検討 実施	【内容】 肱川全域の浸水想 定区域提示後見直 し 【時期】 H29年度以降																
٠	・巡視員の安全性確保やリスクの高い箇所を 含めた巡視計画の見直し及び樋門操作員等 の安全確保に関する避難基準等の検討	・巡視員の安全性確保やリスケの高 い簡所を含めた巡視計画の見庫し 及び確門操作員等の安全確保に 関する避難基準等の検討	年度か 国、県の操作	【内容】 拡川全域の浸水想 定区域提示後検討 「時期】 H29年度以降																
	・計画規模降雨を超える洪水を考慮した水防拠点の代替施設の検討	・計画規模降雨を超える洪水を考慮した水防拠点の代替施設の検討	平成28 年度か けら検討 実施	【内容】 脑川全域の浸水想 定区域提示後検討 【時期】 H29年度以降																
要配慮	虚者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推	進に関する取組																		
	・要配慮者利用施設、関係各課と連携した情報伝達訓練及び選集訓練の計画の検討を行うとともに、避難確保計画の作成に向けた支援の検討を実施	・要配慮者利用施設・福祉施設担 当部局と購して、情報伝達訓練 や避難訓練の計画を検討を行うと ともに、避難確保計画の作成に向 けた支援の検討を実施 (区域内関連施設19施設)	H28年 土砂災害警 度から 内施設と避	推訓練 難訓練や避難計画																
	・大規模工場等への浸水リスクの説明と水害 対策等の啓発活動	・消防・商工産業課等と連携して、 G 浸水区域企業等を訪問、災害情報 提供のチラシ等の配布による啓発	東大洲地区 に対し災害 配信サービン でのチラシ等 行う。	中の情報 本豆啄及い制成学	ě															

			課題の		愛媛県				気象				四国地整		
項目	事項	内容	対応	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定
2)ソフト対	策の主な	な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減及び避	難時間の)		天肥仏儿				关ル仏儿				大肥 状儿	
	■水防活	動の効率化及び水防体制の強化に関する取組	1												
		·水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓 練の実施	К	・市町へ管理委託している樋門の操作点検時にあわせて地元水防団・樋門門操作員の連絡体制の確認を実施。	引き続き毎年 実施	平成28年4月 実施	引き続き実施					・水防団との伝達訓練 ・福門操作員との伝達訓練及び避難訓 練 ・維持工事による特別巡視訓練	毎年出水期前に実施	·樋門操作説明会を 開催 ·特別巡視訓練を実 施	【内容】 引き続き実施 【時期】 毎年実施 (H29は特別巡視訓練を5/15、樋門操作説明会5/22に実施)
		·水防連絡会等による水防団等との共同点検 等の実施及び重要水防箇所の精査・見直し	K, L	・水防連絡会の開催 ・重要水防箇所の精査・見直し		平成28年5月 実施	引き続き実施					・水防連絡会の開催及び重要水防箇所 の確認 ・水防団幹部との意見交換会 ・重要水防箇所の精査・見直し	毎年出水期前に実施	担当者の水防連絡 会参加 (H28.5.19)	【内容】 ・水防連絡会による 合同点検を実施 【時期】 毎年出水期前まで (H29は5/16実施)
		・水防団・自主防災組織・消防署等の関係機関が連携した水防訓練の実施	М	・水防従事者を対象に水防活動に用いられる各種水防工法について説明・実演を行う。	吃有味	平成28年5月 実施	引き続き実施					・水防団、消防団の団員内に、水防工法の指導者育成を実施	毎年出水期前に実施	・自主防災組織による水防訓練の実施 (H28.10.16)	【内容】 ・大洲市消防団(水 防団)との水防工法 訓練の実施 【時期】 毎年出水期前まで (H29は5/21実施)
		・河岸侵食等も考慮した、水防用資機材の配置計画の見直し及び広域支援の検討	j, k	・河岸侵食等も考慮した。水防用資機材の配置計画の見直し	平成28年度 から検討実施	-	-					・河岸侵食等も考慮した、水防用資機材 の配置計画の見直し及び広域支援の検 討	平成28年度か ら検討実施		
		・巡視員の安全性確保やリスクの高い箇所を 含めた巡視計画の見直し及び樋門操作員等 の安全確保に関する避難基準等の検討	i, n	・巡視員の安全性確保やリスクの高い箇所を含めた巡視計画の見直し 及び福門操作員等の安全確保に関 する避難基準等の検討		-	今後検討実施					・巡視員の安全性確保やリスクの高い箇所を含めた巡視計画の見直し及び経門 操作員等の安全確保に関する避難基準 等の検討			
		・計画規模降雨を超える洪水を考慮した水防拠点の代替施設の検討	/									・計画規模降雨を超える洪水を考慮した 水防拠点の代替施設の検討	平成28年度か ら検討実施		
	要配慮	者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推	進に関す												
		· 要配慮者利用施設、関係各課と連携した情報伝達訓練及び避難訓練の計画の検討を行 予ともに、避難確保計画の作成に向けた支援 の検討を実施	I	・大洲市が実施する避難訓練等の支援		_	今後検討実施								
		·大規模工場等への浸水リスクの説明と水害 対策等の啓発活動	G												

	内宛	課題0)	大洲市			伊	尹予市				予市			14	5. 部町			νν	9子町	
項	内容	対応		明 平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後
主な耳	取組 ③社会経済活動を取り戻すための	排水活動	及び施設運用の強化																		
水活動	動の強化に関する取組																				
· 湧 有	浸水被害確認システムによる内水状況の共 有	Q	・国ンステムによる内水状況の共有実施	中内水状况共有中	【内容】 引き続き情報共有に に努める 【時期】 通年																
洪門ポ	現状の河川管理施設の能力を大幅に上回 現水による浸水想定も考慮し、排水機場、植 別、排水路等の情報共有、採水ポンゴ東及 ポンプ排水委託の最適な配置も踏まえた排 計画及び広域支援の検討を実施	0.0	・内水排除対策(ボンブ排水委託) 実施の実施 ・現状の河川管理施設の能力を大 H28 幅に上回る洪水による浸水想定も 考慮した排水機場、樋門等の情報 共有を踏まえた、排水ポンブ車等 の配置先の再検討	中	(内容] 「内容] 「内容] 「持続き、内水排除 対策ができたとき に、より確実かつ迅 速にポンプ排水が行 えるように出水期に 市が水中ポンプ等の 機材を優別を して、おりで に、はり確実が して、おりで に、はり確実が に、はり確実が に、はり確実が に、はり確実が に、はり確実が に、はり確実が に、はり確実が に、はり確実が に、はり確実が に、はりにない に、はりにない に、はりにない に、はりにない に、はりにない に、はりにない に、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は																
· #	排水ポンプ車等による訓練の実施	Р																			
· タ に 施	ダムの容量を有効活用するためのダム操作 こついて判断基準、操作ルール等の検討を3 施	: 実 R																			
頁	内容	課題の		大洲市			伊	尹予市			西	予市			石	毛部町				7子町	
		対応		平成28年度の	今後の予定	宝施内容	時期	平成28年度の	今後の予定	宇施内容	時期	平成28年度の	今後の予定	宇施内容		平成28年度の	今後の予定	実施内容		平成28年度の	今後
き支える	る浸水対策の取組 ①地域経済を支える		実施内容時	明 平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後
	<mark>る浸水対策の取組 ①地域経済を支える</mark> 済を支える浸水対策に関する取組		実施内容時	明 平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容			今後の予定	実施内容		平成28年度の 実施状況	今後
域経済 【 P 〈加·····			実施内容 時(東大洲地区の生産性向上)	朝 平成28年度の実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の実施状況	今後の予定	実施内容			今後の予定	実施内容		平成20年度の実施状況	今後
域経済 【単 〈D	済を支える浸水対策に関する取組 (再掲] 拡川) ・惣瀬箇所の堤防整備 ・小長浜箇所の堤防整備 ・東大洲箇所の堤防整備 ・東大洲箇所の堤防整備 ・原大洲箇所の堤防整備 ・原野川ダムの改造 ・ (久米川)	 マスタ	実施内容 時(東大洲地区の生産性向上)	実施状況		実施内容	時期	平成28年度の実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の実施状況	今後の予定	実施内容			今後の予定	実施内容		平成20年度の実施状況	今後

		課題の		愛媛県				気	象台			四国地整		
項目	事項 内容	対応	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定
2)ソフトダ	対策の主な取組 ③社会経済活動を取り戻すための排	水活動及												
	■排水活動の強化に関する取組													
	・浸水被害確認システムによる内水状況の共有	Q									・浸水被害確認システムによる内水状況 を市と共有するとともに、情報の高度化を 検討		・浸水被害確認システムによる情報共有	【内容】 情報提供内容野高 度化に関する改良を 実施 【時期】 平成29年度も継続 指定実施。
	・現状の河川管理施設の能力を大幅に上回る 洪水による浸水想定も考慮し、排水機場、樋 門、排水路等の情報共有、排水ボンブ車及び ポンプ排水委託の最適な配置も踏まえた排水 計画及び広域支援の検討を実施	O. P., m. o									・現状の河川管理施設の能力を大幅に 上回る洪水による浸水想定も考慮し、排 水機場、樋門、排水路等の情報共有、 排水ボンプ車及びボンブ排水委託の最 適な配置も踏まえた排水計画及び広域 支援の検討を実施	H28年度から 検討実施	・計画規模洪水によ る浸水被害に対する 排水計画(手順書) を作成	【内容】 現地確認等を踏まえ で排水計画をリバイス 【時期】 平成29年度に検討
	・排水ポンプ車等による訓練の実施	Р									・毎年度1回以上排水ボンブ車等による 訓練を実施	毎年実施	·毎年実施	【内容】 ・排水ポンプ車訓練 の実施 【時期】H295月下旬 もしくは6月上旬で実 施予定
	・ダムの容量を有効活用するためのダム操作 について判断基準、操作ルール等の検討を実施	R									・ダムの容量を有効活用するためのダム 操作について判断基準、操作ルール等 の検討を実施	H28年度から 検討実施	概略検討を実施	【内容】 引き続き検討を実施 予定 【時期】 検討を実施中

項目	事項	内容	課題の		愛媛県	Į.			気	象台			四国地整		
- 現日	争垻	NA NA	対応	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定
3)地域稻	経済を支.	える浸水対策の取組 ①地域経済を支える浸	水対策(
	■地域網	経済を支える浸水対策に関する取組													
		【再掲】 〈肱川〉 ・惣類箇所の堤肪整備 ・小長兵箇所の堤肪整備 ・小長兵箇所の堤防整備 ・東大州箇所外6箇所の段階的嵩上げ ・旧堤撤去による流下能力不足解消 ・鹿野川ダムの改造 〈久米川〉 ・久米川工区の段階的嵩上げ	R. p. g. r	〈久米川〉 ・久米川エ区の段階的嵩上げ	平成30年度	〈久米川〉 ・段階的嵩上げの 工事着手	〈久米川〉 ・段階的嵩上げの 工事推進					《肱川》 ・惣瀬箇所の堤防整備 ・小長浜箇所の堤防整備 ・東大洲箇所外6箇所の段階的嵩上げ ・旧堤撤去による流下能力不足解消 ・鹿野川ダムの改造	平成30年度 平成32年度 平成30年度 平成28年度 平成30年度	・惣瀬地区、旧堤撤 去、鹿野川ダム改造 着手。	
		【再掲】 ・大規模工場等への浸水リスクの説明と水害 対策等の啓発活動	G												
		【再掲】 ・現状の河川管理施設の能力を大幅に上回る 決水による浸水想定も考慮し、排水機場、模 門、排水路を所情報共有、排水ボンブ車及び ボンブ排水委託の最適な配置も踏まえた排水 計画及び広域支援の検討を実施	m, o									・現状の河川管理施設の能力を大幅に 上回る洪水による浸水想定も考慮し、排 水機場、福門、排水路等の情報共有。 排水ボンプ車及びボンブ排水委託の最 遠な配置を踏まえた排水計画及び広域 支援の検討を実施	H28年度から 検討実施	・計画規模洪水による浸水被害に対する お洗水財画(手順書) を作成	【内容】 現地確認等を踏まえ て排水計画をかべ ス 【時期】 平成29年度に検討

愛媛県管理区間

概ね5年で実施する取組(県管理区間)

		課題の	t	洲市			月	尹市			2	50000000000000000000000000000000000000			砬	氏部町			P	9子町	
項目事項	内容	対応	実施内容 時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定
1)ハード対策の	主な取組																•				
■洪水	氾濫を未然に防ぐ対策																				
	(肱川) ・惣瀬箇所の堤防整備 ・小長浜箇所の堤防整備 ・東大洲箇所外8箇所の段階的嵩上げ ・旧堤撤去による流下能力不足解消 ・鹿野川ダムの改造 ・管田・村島工区の暫定的堤防整備 ・岩瀬川工区の暫定的堤防整備 〈久米川〉・久米川工区の段階的嵩上げ	R. p. g. r																			
	〈流域内河川〉 ・河床整正等による流下阻害箇所の解消																				
■危機	 管理型ハード対策																				
	《肱川》 ・宇和川(瀬戸工区)の重要水防箇所の堤 防補強 〈清永川〉 ・重要水防箇所の堤防補強	R, p, q, r																			
■避難	↓ 行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の割	▲ 整備																			
	・早期に氾濫が発生する地区に対して、洪水 時の避難動告等の発令判断に活用する水位 計の整備		・肱川上流部の氾濫開始が他の区間より上草い地点において、水位計 H28年を整備する事により、洪水(市)計 中 勧告等の発令判断に活用予定	大洲市池田集会所	【内容】 浸水状況と肱川の 水位の相関関係を ふまえ、避難勧告等 基準を見直す 【時期】 平成29年度以降																
	・肱川減災対策計画に基づく排水路の整備	Р	・肱川滅災対策計画に基づき対応 可能箇所より排水路等の整備を実 施)																	
	・避難行動に必要な映像提供を考慮した CCTVカメラの配置計画の検討を実施	Н																			
	・光ファイバーの二重化、架空区間の埋設化の検討を実施	Н																			
	・堤防天端を活用した緊急輸送路の整備及び 避難路としての活用運用整備	D																			
	・水防活動の迅速化、水害対策に活用できるよう「土のうステーション」を整備	N																			
	・計画規模降雨を超える洪水において、樋門等を活用した早期排水を行うため、漫水等による樋門等の機能停止を回避するための施設強化の検討及び排水機場の整備の検討	, <i>m</i>	・計画規模降雨を超える洪水において、植門等を活用した早期排水 を行うため、浸水等による植門等の検討実化の検討 化の検討																		

			課題の		愛媛県				気象	象 台			四国地整		
項目	事項	内容	対対	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定
1)ハード	対策の主	な取組										· 			
	■洪水氾	2濫を未然に防ぐ対策					T								
		(鉱川) ・惣瀬箇所の堤防整備 ・小長浜箇所の堤防整備 ・小長浜箇所の堤防整備 ・東末洲箇所の場防形の段階的巻上げ ・旧堤撤去による流下能力不足解消 ・鹿野川ダムの改造 ・管田・村島工区の暫定的堤防整備 ・岩瀬川工区の暫定的堤防整備 〈久米川〉 ・久米川工区の段階的嵩上げ 〈流域内河川〉 ・河床整正等による流下阻害箇所の解消	R. p. g. r	(拡川) ・菅田・村島工区の暫定的堤防整備 ・岩瀬川工区の暫定的堤防整備 ・岩瀬川工区の暫定的堤防整備 〈久米川〉 ・ ク米川工区の段階的嵩上げ 〈流域内河川〉 ・ 河床整正等による流下阻害箇所の解消	平成30年代 中期 平成32年度 平成30年度 引き続き実施	(肱川) ・村島工区の上流 部552mが完成 ・岩瀬川工区 肱 川本川から約300m が完成 (久米川) ・段階的嵩上げの 工事着手 (流域内河川) ・実施中	(旅川) ・曽田工区の堤防 を備着手、特島工区の堤防整備推進 ・岩瀬川 堰の管理者と移設等について協議を実施 (久米川) ・段階的嵩上げの工事推進 (流域内河川)・引き続き実施								
	■危機管	理型ハード対策													
		《肱川》 ・宇和川(瀬戸工区)の重要水防箇所の堤 防補強 (清永川) ・重要水防箇所の堤防補強	R. p. g. r	《肱川》 ・宇和川(瀬戸工区)の重要水防箇所の堤防補強 (清永川) ・重要水防箇所の堤防補強	平成32年度平成30年度	〈肱川〉 ・用地買収中 〈清永川〉 ・特になし	〈肱川〉 ・買収が完了した 箇所から工事実施 〈清永川〉 ・測量設計に着手								
	■避難行	「動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整	備		1794-1702		,,, <u></u>						1		
		・早期に氾濫が発生する地区に対して、洪水時の避難勧告等の発令判断に活用する水位計の整備	В	・久米川で水位観測開始 ・肱川上流域において、洪水時の避 難勧告等の発令判断の目安となる 情報提供を検討	平成28年5 月 引き続き実施	・水位観測データの蓄積	・引き続き水位観測 データを蓄積し、水 位設定を検討								
		・肱川滅災対策計画に基づく排水路の整備	Р												
		・避難行動に必要な映像提供を考慮した CCTVカメラの配置計画の検討を実施	Н												
		・光ファイバーの二重化、架空区間の埋設化 の検討を実施	I												
		・堤防天端を活用した緊急輸送路の整備及び 避難路としての活用運用整備	D												
		・水防活動の迅速化、水害対策に活用できる よう「土のうステーション」を整備	Z												
		・計画規模降雨を超える洪水において、樋門等を活用した早期排水を行うため、浸水等による樋門等の機能停止を回避するための施設強化の検討及び排水機場の整備の検討	т	・計画規模降雨を超える洪水において、樋門等を活用した早期排水を行うため、浸水等による樋門等の機能 停止を回避するための施設強化の 検討	H28年度から 検討実施	-	必要に応じて施設を強化を検討								

10 10 10 10 10 10 10 10			課題の		大洲	市			f	尹予市			西	i予市			砬	部町			内	子町	
### 1917. E. DESTRUCTURES ### 1917. E. DESTRUCT	項目事項	内容	対応		時期	平成28年度の	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の	今後の予定
Part	2)ソフト対策の主な	な取組 ①円滑かつ迅速な避難行動のための	の取組			美.他认况						1 112						美				美胞 状况	
### Part																							
Part		及びその情報によるリアルタイムの情報提供や	g, h, E, F, G, H, J	情報連絡網の整備 ・想定最大規模降雨による洪水を	度から 順次実	自主防災活動などの 機会にチラシ等配布	引き続き啓発を行 う。																
日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日		イン)の作成及び関係機関の連携状況等を踏	B B		度から	わせてタイムラインに よる行動確認を実施	国交省とタイムライン の訓練を実施 【時期】					・県と協力しタイムラインの作成	H28年 度から 実施	検討を開始。	タイムラインの作成。								
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##			c	・計画規模降雨を超える洪水を対象とした新たなタイムラインの作成	度から		国交省と内容協議 のうえ作成 【時期】						検討実	検討を開始。	平成29年度は、通 常のタイムラインを作 成。 【時期】								
日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日		隣市町との広域避難に関する調整、避難経路	Š C∖D	・近隣市町との広域避難に関する 調整、避難経路の検討	度から		肱川全域の浸水想 定区域提示後検討																
### 1		·計画規模降雨を超える洪水も対象とした浸水地区の避難所、避難経路等の検討	C, D, I, <i>e</i>	・計画規模降雨を超える洪水も対象とした浸水地区の避難所、避難経路等の検討	H28年 度から 検討実 施		肱川全域の浸水想 定区域提示後検討 【時期】					・計画規模降雨を超える洪水 も対象とした浸水地区の避難 所、避難経路等の検討	H28年 度から 検討実 施	検討を開始。	引き続き検討を実 施。 【時期】								
電子機・関係を対している。 できない (1 年) 日本		・洪水予報文・水位到達情報文の改良	А																				
第四年の大き大地の大学を表現の企業が表現。1 日本語が 2 日本語が		想定区域の指定及び浸水シミュレーション、家	ē <i>a</i> , H																				
- 小サードマップ(統合生物災マップ)の改良・ 点、		域の指定及び浸水シミュレーション、家屋倒壊	E b	リスク情報の周知等を含めた避難 体制の強化への取組方針について	平成28 年度か ら検討 実施		による肱川全域の洪 水想定区域提示後 協議実施 【時期】													規模降雨による洪水浸水想 定に対するリスク情報の周知 等を含めた避難体制の強化 への取組方針について県との	平成28 年度か ら検討		【内容】 ・水防警報河川、洪水浸水想定区域の 指定・県と協議を実施 【時期】・区域指定はH29年 度末以降(予定) ・随時協議
サードJの取組 ・情報伝達手段の多重化の検討を実施 E、F ・情報伝達手段の多重化を検討 模点の 検討実施				・想定最大規模降雨による洪水想 定区域・踏まえたハザードマップ (統合型防災マップ)の改良・周知	H28年 度から 順次実 施	区域のデータ提供について国・県協議実	特定最大規模降雨 による肱川全域の洪 水想定区域提示後 作成																
- 情報伝達手段の多重化の検討を実施		洪水に対する被害軽減のための「災害・避難	5 D																				
対策拠点における浸水対策及び代替施設の /		・情報伝達手段の多重化の検討を実施	E, F	・情報伝達手段の多重化を検討	度から	万円関係機関を機	引続き情報伝達手 段について検討 【時期】																
		対策拠点における浸水対策及び代替施設の	/																				
・洪水時に直接市町長等へ河川情報を伝える 「ホットライン」の構築を検討 A A A A A A A A A A A A A A A A A A A		・洪水時に直接市町長等へ河川情報を伝える 「ホットライン」の構築を検討	5 A									区間において、県と「ホットライ	平成28 年度		・県と調整でき次第、運用を開始								

					愛媛県				= 4	象 台			四国地整		
項目	事項	内容	課題の 対応	実施内容	時期	平成28年度の	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の	今後の予定
) ハコトか+	生の主力	な取組 ①円滑かつ迅速な避難行動のための	野ヶ糸日	大旭門在	H-(1 3-01)	実施状況	780772	大爬竹竹	H-(1.56)	実施状況	7 80 7 2	大肥的音	H-(7.99)	実施状況	78072
		宝達、避難計画等に関する取組	/4X/III												
	■ 1FI +IX IZ	1年、紅葉山岡寺に関する状態													
		・避難行動等に必要な情報提供内容の検討 及びその情報によるリアルタイムの情報提供や ブッシュ型情報の発信及び連絡網の整備	g, h, E, F, G, H, J	・アラームメール(えひめ河川(かわ) メール)の利用登録者増加に向けた 広報・周知	H28年度から 順次実施	各種説明会等において、チラシの配布 や説明を実施	引き続き実施								
		・避難動告に着目した防災行動計画(タイムラ イン)の作成及び関係機関の連携状況等を踏 まえた精度向上及び訓練の実施	В	・国、大洲市、西予市と協力しタイム ラインの作成及び内容精査を支援		_	関係機関と協力し、 タイムラインの作成に 着手								
		・計画規模降雨を超える洪水を対象としたタイムラインの作成及び訓練の実施	С	・国、大洲市、西予市と協力しタイム ラインの作成及び内容精査を支援		_	関係機関と協力し、 タイムラインの作成に 着手								
		・計画規模降雨を超える洪水も対象とした近 隣市町との広域避難に関する調整、避難経路 の検討	C, D	・大洲市が近隣市町との広域避難を 検討する場合に八幡浜支局におい ても調整を支援	H28年度から 検討実施	-	広域避難の検討を 支援								
		・計画規模降雨を超える洪水も対象とした浸水地区の避難所、避難経路等の検討	C, D, l, e			-									
		・洪水予報文・水位到達情報文の改良	А	水位到達情報文の改良	H28年度から 検討実施	_	水位到達情報文の 改良を検討								
		・想定最大規模降雨による洪水も含めた浸水 想定区域の指定及び浸水シミュレーション、家 屋倒壊等氾濫想定区域の公表	<i>a</i> , H	・想定最大規模降雨による洪水も含 めた浸水想定区域図及び浸水ジミュ レーション、家屋倒壊等氾濫想定区 域の公表	. H29年度から	検討を実施	・肱川(大洲市県管理区間)については、平成29年度に、国と協力して、浸成人里で、機成人工で、浸水想定区域図を供予で、中で、ア成29年では、小田川に一度に、浸水想定区域図等の作成に着手					・指定区間の一部で想定最大規模降雨 による洪水も含めた浸水想定区域図及 び浸水シミルーション、家屋倒壊等氾濫 想定区域の作成支援	H29年度		【内容】 協川(大洲市県管理 区間)の浸水想定区 域図及び浸水シミュ レーション。家屋倒 壊等氾濫想定区域 の作成支援 【実施期間】 平成29年度
		・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域の指定及び浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表対象河川の検討を実施	Ь	・指定区間における想定最大規模降雨による洪水浸水想定に対するリスク情報の周知等を含めた避難体制の強化への取組方針について大洲市、内子町との協議を実施	・ 平成28年度 から検討実施		・鉱川(大洲市県管理区間)については、平成29年度に、国と協力して、浸水想定区域図を作成し、大洲市に提供予定・小田川については、平成29年度に、浸水規定区域図等の作成に着手								
		・ハザードマップ(統合型防災マップ)の改良・ 周知	a, b, d, e, 	・指定区間における想定最大規模降 前による洪水浸水視定に対する以 庁籍の同別等を含めた遊離体制 の強化への取組方針について国、大 洲市との協議を実施	立 書 20 年 庫	検討を実施	・肱川(大洲市県管理区間)について、平成29年度に、国と協力して、浸水想定区域を作成し、大洲市に提供予定								
		・現状の河川管理施設の能力を大幅に上回る 洪水に対する被害軽減のための「災害・避難 カード」の取組	D												
		・情報伝達手段の多重化の検討を実施	E, F												
		・計画規模降雨を超える洪水を考慮した災害 対策拠点における浸水対策及び代替施設の 検討	/												
		・洪水時に直接市町長等へ河川情報を伝える 「ホットライン」の構築を検討	Α	・肱川(上流域)の水位周知区間において、西予市と「ホットライン」の構築に向けた検討を実施	平成28年度		・県と調整でき次第、 運用を開始								

		課題の		大洲市			伊	尹予市				予市			硅				内	子町	
項目事	耳項 内容	課題の 対応	実施内容	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定
	の主な取組 ①円滑かつ迅速な避難行動のための	D取組																			
Z	平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組																				
	・避難を促す緊急行動のトップセミナーの開催 及び共同点検の実施	В																			
	・情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級 の現象」等の改善	Н																			
	・効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料の作成・配布	A, H	・災害情報提供のチラシ等による広 H2 ・ ・ 変	・滅災協議会の実施 に関するニュースレ ターの配付(H29年2 月)	【内容】 自主防災訓練や公 民館事業を通して周 知 【時期】 平成29年度	・効果的な「水防災意識社 会」の再構築に役立つ広報や 資料について検討	度から	・総合防災マップや 水防災チラシ等を活 用した防災・減災啓 発の実施	引き続き実施	・効果的な「水防災意識社 会」の再構築に役立つ広報や 資料について検討	H28年 度から 実施	・新たな浸水想定地域、防災情報を掲載した総合防災マップを作成するとともに、ハガード情報をweb	【内容】 - 総合防災マップを ・総合防災マップを 活用した出前講座 等、啓発活動の実 施。 【時期】 ・年間をとおして随 時。	・効果的な「水防災意識社 会」の再構築に役立つ広報や 資料について検討	座から	情報を共有し連携し て実施	引き続き実施	会」の再構築に役立つ広報や	H28年 度から 実施	・協議会の実施に関 するニュースレター・ するニュースレター・ や風水害に関するパーク ンフ等を自治セン ター等施設にか ・水災害に関する マップの配布(旧五 (・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	資料についての検 † 広報紙等による周] 時期】
	・小中学校及び自治会等における洪水被害の 歴史等を踏まえた水災害教育を実施	A, G																			
	・ダム操作に関する地元関係者への周知	F			i																
	・水害等への備えに関する要配慮者利用施設 の管理者向け説明会の実施	A, G																			

75.0	事項	内容	課題の		愛媛県				気	象台			四国地整		
項目	争坦	内谷	対応	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定
		な取組 ①円滑かつ迅速な避難行動のための	D取組												
	■平時か	いら住民等への周知・教育・訓練に関する取組 「	1				T	T			I				
		・避難を促す緊急行動のトップセミナーの開催 及び共同点検の実施	В	・水防連絡協議会等において関係者 に避難活動の充実を図る啓発を実 施 ・関係者で重要水防箇所等の点検 を実施	き続き実施	平成28年5月 実施	引き続き実施								
		・情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級 の現象」等の改善	Н					・情報発信時の「危険度の色 分け」や「警報級の現象」等の 改善	H29.5末	情報発信時の「危険 度の色分け」や「警 報級の現象」等の改 善 (H29.5.17)	・大雨警報・洪水警報の危険度分布の公開 (H29.7月予定)				
		・効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料の作成・配布	А, Н	·えひめ河川(かわ)メールのチラシ 引き 配布	き続き実施	各種説明会等において、チラシの配布 いで、チラシの配布 や説明を実施	引き続き実施								
		・小中学校及び自治会等における洪水被害の 歴史等を踏まえた水災害教育を実施	A, G	・要請に応じ、出前講座により水災害 引き 教育を実施	き続き実施	出前講座の希望者 を募集	引き続き実施								
		・ダム操作に関する地元関係者への周知	F	:											
		・水害等への備えに関する要配慮者利用施設 の管理者向け説明会の実施	A, G	・要配慮者利用施設の管理者に対して、水害への備えに関する理解を深 H28 めてもらうための説明会を実施	8年度	平成28年12月 実施	必要に応じて実施								

事項	内容	課題の	_	大洲				伊	予市			2	西予市			ł	氐部町			P	9子町	
争坦	内谷	対応	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の
きの主7	な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減及び避	難時間の	D確保のための水防活動等の取組																			
水防沒	活動の効率化及び水防体制の強化に関する取扱	組														,				,		4
	・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓 練の実施	К	・毎年情報伝達網の確認 ・ 植門等の点検時等に伝達網を活 用して実施(火災・事故・捜索活動 でも活用)	引き続き 毎年実 施	樋門点検時等に伝 達網を確認	【内容】 引き続き樋門点検 時等に伝達網を確 認 【時期】 毎年実施	・水防団等への連絡体制の 再確認と伝達訓練の実施	施	・情報連絡網の確認 及び更新 ・通信司令システム を活用した消防団幹 部への一斉通報試 験の定期的な実施 (年数回)		・水防団等への連絡体制の 再確認と伝達訓練の実施	引き続き 毎年実 施	・ 例年どおり実施。	【内容】 月1回の情報伝達訓 練を実施。 【時期】 随時	・水防団等への連絡体制の 再確認と伝達訓練の実施		・水防工法訓練時に 連絡体制の再確認 を実施(H28.5.7)	引き続き毎年実施	·水防団等への連絡体制の 再確認と伝達訓練の実施	引き続き 毎年実 施	・町防災訓練にて伝	練等にて
	・水防連絡会等による水防団等との共同点検 等の実施及び重要水防箇所の精査・見直し	K, L	・水防連絡会等への水防団・危機 管理課職員・消防署・自主防災組 機等の参加 ・水防団幹部との意見交換会に水 防団・担当職員等の参加	引き続き毎年実	担当者の水防連絡 会参加 (H28.5.19)	【内容】 引き続き水防連絡 会等へ参加 【時期】 毎年実施	・水防連絡会等による水防 等との共同点検等の実施及 び重要水防箇所の精査・見 直し	団 引き続き 毎年実 施	重要水防箇所の見直し	引き続き実施	・水防連絡会等による水防団 等との共同点検等の実施及 び重要水防箇所の精査・見 直し	引き続き 毎年実 施	例年どおり実施。	【内容】 危険個所の点検を 実施。 【時期】 出水期前	・水防連絡会等による水防団 等との共同点検等の実施及 び重要水防箇所の精査・見 直し	引き続き 毎年実 施		出水期前に水防団 等との共同点検等の 実施	・水防連絡会等による水防団 等との共同点検等の実施及 び重要水防箇所の精査・見 直し	引き続き 毎年実 施	·樋門点検を出水期 前に実施	【内容】 ・樋門点点・ ・県重要水 ・共周期】 ・出水期。
	・水防団・自主防災組織・消防署等の関係機 関が連携した水防訓練の実施	М	・水防団・自主防災組織・消防署・ 危機管理課職員が参加	引き続き 毎年実 施	・水防工法訓練参加 (H28.5.15) ・自主防災組織による水防訓練の実施	【内容】 引き続き自主防災 組織による訓練実施 【時期】 毎年実施	・水防団・自主防災組織・消 5 防署等の関係機関が連携 た水防訓練の実施	毎年実	5月15日、消防団・ 自主防災組織・消防 署・市職員による水 防工法訓練の実施	引き続き実施	・水防団・自主防災組織・消 防署等の関係機関が連携し た水防訓練の実施			【内容】 訓練·講習会を実施。 【時期】 随時	・水防団・自主防災組織・消防署等の関係機関が連携した水防訓練の実施			引き続き毎年実施	・水防団・自主防災組織・消防署等の関係機関が連携した水防訓練の実施	引き続き 毎年実 施	・消防署と連携し水 防団や自主防災組 織による水防工法訓 練の実施	向けた協
	・河岸侵食等も考慮した、水防用資機材の配置計画の見直し及び広域支援の検討	j, k																				
	・巡視員の安全性確保やリスクの高い箇所を 含めた巡視計画の見直し及び種門操作員等 の安全確保に関する避難基準等の検討	i, n																				
	・計画規模降雨を超える洪水を考慮した水防 拠点の代替施設の検討	/																				
要配慮	書者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推	進に関す	る取組																			
	· 要配慮者利用施設、関係各課と連携した情報伝達訓練及び選難訓練の計画の検討を行うと達訓練の計画の作成に向けた支援の検討を実施	ı																				
	·大規模工場等への浸水リスクの説明と水害 対策等の啓発活動	G	・消防・商工産業課等と連携して、 浸水区域企業等を訪問・災害情報 提供のチラシ等の配布による啓発	R H28.5頃	自主防災活動などの 機会にチラシ等配布 による啓発を実施	う。																

			課題の	愛媛県				気象	<u></u> 製台			四国地整		
項目	事項	内容	対応	実施内容 時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定
2)ソフト対	策の主	な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減及び過	聲難時間	0) 25/12/2 (1/2				23/12/03/12	,			2300000	
	水防湯	舌動の効率化及び水防体制の強化に関する取	組											
		・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	К	・市町へ管理委託している樋門の操作点検防にあわせて地元水防団・樋 引き続き毎年門操作員の連絡体制の確認を実施。	平成28年4月 実施	引き続き実施								
		・水防連絡会等による水防団等との共同点検 等の実施及び重要水防箇所の精査・見直し	K, L	・水防連絡会の開催 ・重要水防箇所の精査・見直し	平成28年5月実施	引き続き実施								
		・水防団・自主防災組織・消防署等の関係機 関が連携した水防訓練の実施	М	・水防従事者を対象に水防活動に用 いられる各種水防工法について説 随時 明・実演を行う。	平成28年5月 実施	引き続き実施								
		・河岸侵食等も考慮した、水防用資機材の配置計画の見直し及び広域支援の検討	j, k	・河岸侵食等も考慮した、水防用資 機材の配置計画の見直し から検討実施										
		・巡視員の安全性確保やリスクの高い箇所を 含めた巡視計画の見直し及び経門操作員等 の安全確保に関する避難基準等の検討	i, n	・巡視員の安全性確保やリスクの高 い箇所を含めた巡視計画の見慮し 平成28年度 及び樋門操作員等の安全確保に関 から検討実施 する避難基準等の検討	-	今後検討実施								
		・計画規模降雨を超える洪水を考慮した水防拠点の代替施設の検討	/											
	要配点	ま 者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推	進に関す	ţ										
		・要配慮者利用施設、関係各課と連携した情報伝達訓練及び避難訓練の計画の検討を行うとともに、避難確保計画の作成に向けた支援の検討を実施	1											
		・大規模工場等への浸水リスクの説明と水害 対策等の啓発活動	G											

th sta	課題の		大洲市				伊	予市			西	予市			ž.	氏部町			内	子町	
谷YY	対応	実施内容	時期平月	成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定
な取組 ③社会経済活動を取り戻すための技	非水活動及	び施設運用の強化																			
舌動の強化に関する取組									,				1	1	_	,					
- 浸水被害確認システムによる内水状況の共有	Q			:																	
・排水ポンプ車等による訓練の実施	Р																				
・ダムの容量を有効活用するためのダム操作 について判断基準、操作ルール等の検討を実施	R R																				
	課題の		大洲市				伊	予市			西	予市			Ti.	氏部町			内	子町	
内容 	対応	実施内容	時期平月	成28年度の	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定
える浸水対策の取組 ①地域経済を支える浸	是水対策(頁	東大洲地区の生産性向上)															·				
経済を支える浸水対策に関する取組																					
【再掲】 (拡川) - 惣瀬箇所の堤防整備 - 小長浜箇所の堤防整備 - 東大洲箇所外6箇所の段階的嵩上げ - 旧堤撤去による流下能力不足解消 - 鹿野川ダムの改造 (久米川) - 久米川工区の段階的嵩上げ	R, p, g, r																				
【再掲】 ・大規模工場等への浸水リスクの説明と水害 対策等の啓発活動	G																				
【再掲】 ・現状の河川管理施設の能力を大幅に上回る 決水による浸水想定も考慮し、排水機場、種 門、排水路等の情報共有、排水水ンプ車及び ボンブ排水変託の最適な配置と踏まえた排水 計画及び広域支援の検討を実施	O. P																				
	動の強化に関する取組 ・浸水被害確認システムによる内水状況の共有 ・現状の河川管理施設の能力を大幅に上回る 洪水による浸水想定も考慮し、排水機場、矯 門、排水路等の情報共有、排水ボンブ車及び ボンブ排水委託の最適な配置も踏まえた排水 計画及び広域支援の検討を実施 ・排水ボンブ車等による訓練の実施 ・排水ボンブ車等による訓練の実施 ・がよの容量を有効活用するためのダム操作について判断基準、操作ルール等の検討を実施 「について判断基準、操作ルール等の検討を実施 「内容 【再掲】 ・放展流箇所の堤防整備 ・東大洲箇所外に箇所の段防を備・東大洲箇所外に筋所の堤防整備・東大洲箇所外に動所の堤防整備・東大洲箇所外にあが設める強に、非水形場、循・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	*** ** ** ** ** ** ** *	京歌組 ③社会経済活動を取り戻すための排水活動及び施設運用の強化 動の強化に関する取組 ②	内容 対応 実施内容 時期 平	の問題		大田 19 19 19 19 19 19 19 1	対抗 安議内容 特別 安議内容 中間 安議内容 安装内容 安装内容		(元章					29 19 19 19 19 19 19 19	19 19 19 19 19 19 19 19	19 19 19 19 19 19 19 19	### 18	March Marc	March Marc	Marie Section Sectio

			=====		愛媛県				気象	w か			四国地整		
項目	事項	内容	課題の 対応	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定	実施内容	時期	平成28年度の 実施状況	今後の予定
2)ソフトタ	対策の主	な取組 ③社会経済活動を取り戻すための排	水活動及			. 23/10/21/2				23/12/03/12	,		•	23000100	
	■排水沿	舌動の強化に関する取組									1				
		・浸水被害確認システムによる内水状況の共 有	Q												
		・現状の河川管理施設の能力を大幅に上回る 洪水による浸水想定も考慮し、排水機場、種 門、排水路等の情報共有、排水ポンプ車及び ポンプ排水委託の最適な配置も踏まえた排水 計画及び広域支援の検討を実施	0, P,												
		・排水ポンプ車等による訓練の実施	Р												
		・ダムの容量を有効活用するためのダム操作 について判断基準、操作ルール等の検討を実施	R												
			1		377 AVV IPI				=	W. /s		1	m (m) 41. Wr		
項目	事項	内容	課題の 対応	実施内容	愛媛県 時期	平成28年度の	今後の予定	実施内容	時期	象台 平成28年度の	今後の予定	実施内容	四国地整	平成28年度の	今後の予定
3)地域約	経済を支え	える浸水対策の取組 ①地域経済を支える浸	水対策(-4742	実施状況	76.772	200131		実施状況	7,27.2	200171		実施状況	73.77.2
	■地域総	経済を支える浸水対策に関する取組													
		【再掲】 《鉱川》 ・惣瀬箇所の堤防整備 ・小長浜箇所の堤防整備 ・小長浜箇所の堤防整備 ・東大洲箇所外包蘭所の段階的嵩上げ ・旧堤撤去による流下能力不足解消 ・鹿野川ダムの改造 〈久米川〉 ・久米川工区の段階的嵩上げ	R. p. g. r	〈久米川〉 ・久米川工区の段階的嵩上げ	平成30年度	〈久米川〉 ・段階的嵩上げの 工事着手	〈久米川〉 ・段階的嵩上げの 工事推進								
		【再掲】 ・大規模工場等への浸水リスクの説明と水害 対策等の啓発活動	G												
		【再掲】 ・現状の河川管理施設の能力を大幅に上回る 洪水による浸水想定も考慮し、排水優場、種 門、排水路等の情報共有、排水ポンブ車及び ポンブ排水委託の最適な配置も踏まえた排水 計画及び広域支援の検討を実施	m, o												